



冬期のNEXCO東日本さんのCMをご覧になられた方ならご存知かも知れませんが、通常除雪車(貸与車)は4台編成で行います。上り下り両線を周りますが、その編成一梯団といい、私どもでは当社の目の前にある旭川北IC基地に一梯団、和寒IC基地に二梯団を

な彼等も夏は農場・農園経営の個人事業主であり、繁忙期には就労不足という課題を抱えています。そこで夏は反対に当社の社員が利益抜きで手伝いにいきます。その両者ウィンウィンの関係を築いていることも私どもの強みの一つです。」



土木や電気、危険物、衛生、保全に関する資格も必要とされる。



有し、24時間体制で路面パトロールや機械除雪、人力除雪業務にあたっています。社員は43名おりませんが、除雪はそれでは到底賅えないため、上川管内の市町村の農家さんを高速道機械除雪隊として臨時に招集しています。そんな

「仕事の性質上、団体戦で人海戦術を必要とする場面があります。そのため人材こそが企業の原動力であり、その育成を社命と考えています。『人は石垣、人は城、人は堀』の武田信玄公の言葉を引き合いに出しますが、この言葉には人材マネジメントの要諦が凝縮されていると思います。人は石垣や城と同じくらい戦の勝敗を決するのに大切だという意味ですね。実は、私は帰郷し入社する前は、東京で証券会社の営業をしていました。いまNEXCOで『トッカイ』不良債権特別回収部」というドラマをやっていますが、それを見るにつけ、バブル崩壊を眼の当たりにしてきた自分としては、地道な努力で汗を流し社会的使命を果たすことができると本当に幸せだなあと感じます。それでもやはり、あんな時代もあつたなあと懐かしさも込みあげ、つい焼酎に手が伸びてしまいます。」

**Sports Culture Support VOREAS**

登揚建設(株)は、パレーボールVリーグの「ヴォレアス北海道」を支援しています。

<https://voreas.co.jp/>

**Partnership NEXCO Maintenance Hokkaido Support Company**

登揚建設(株)は、NEXCO東日本グループの(株)ネクスコ・メンテナンス北海道のサポート会社です。(一次パートナーシップとして業務提携)

高速道路の除雪作業にご理解とご協力をお願いします(15秒) E-NEXCO driveplaza <https://www.youtube.com/watch?v=mUCtOfvcxau>

NEXCO東日本企業CM「発見!ベスト・ウェイ 除雪」篇(30秒) E-NEXCO driveplaza <https://www.youtube.com/watch?v=Mk4pzC65hbw>

全国の高速道路情報サイト  
【ドラぷら E-NEXCO ドライブプラザ】 <https://www.driveplaza.com/>

**Company Profile**

**登揚建設 有限会社**  
旭川市東鷹栖4条4丁目639-225 ☎0166-76-5104 ①0166-76-7104 <http://www.tohyoh-kensetsu.jp/>  
■高速道路維持管理、除雪業務 ■創立/2000年7月 ■資本金/300万円  
■従業員数/正社員43人、役員3人 (ほか、協力隊として近隣市町村の20名以上の農業従事者と業務提携を確立)



**北の経営者たち**



旭川市

**坂下 薫さん**

**登揚建設有限会社** 一代表取締役



この蛍光オレンジのユニフォームを着ると、たちまちプロの顔になる。道北経済を支えるインフラの基盤である道央自動車道の守り人たち。

高速道路維持管理作業のプロフェッショナル集団として、お客さまの「安全・安心」を守っています。



2019年8月に新築落成。道央自動車道、旭川北ICから500mの位置に立地。



スタッフルームは2カ所。とても整理整頓され、ローテーションなどもホワイトボードにまとめられている。新型コロナウイルス感染症対策も施されている。

1990年に、道央自動車道の深川IC―旭川鷹栖IC間が開通。10年後の2000年には高速道路はさらに北へ延伸し、旭川鷹栖IC―和寒IC間が開通。その同じ年に坂下薫さんの父が旭川市に登揚建設(株)を設立しました。

**社会的意義の大きな仕事**

「それ以前も父は旭土建設という会社を営んでいたのですが、心機一転、高速道路維持管理作業に参加するために会社を整理し、新たに登揚建設(株)を起こしたのが始まりです。当初は三次下請けからのスタートで、やがて二次、そして7、8年前にNEXCO東日本のグループ会社『(株)ネクスコ・メンテナンス北海道』さんの一次パートナーとして私どもが選ばれ、旭川管理事務所内のすべてのメンテナンスを請負うようになりました。これまでも、そしてこれからも、たとえ電気自動車や水素エンジンが主流になろうとも、高速道路

の安全と安心を守るプロフェッショナル集団として、この社会的意義が大きい交通インフラの仕事に邁進していきます。

ちなみに社名の登揚は両親の名前が由来です。父の名前が登、母が登喜代と夫婦ともに「登」がつくものだから。」

**選ばれるには理由がある**

「おかげさまで昨年20周年を迎えたところです。現在では(株)ネクスコ・メンテナンス北海道さんとサポート契約を結んでいる会社は20社を超えますが、一次パートナーの指名

を受けたのは当社が第一号です。なぜそのようなったのかといえますと、自分たちでいうのも何ですが、私どもを信用していただいた結果であると受け止めています。要因としては、これまで大きな事故やトラブルがなかったこと。社員一人ひとりがNEXCO東日本の理念を共有し歩調を合わせていること。また、コンプライアンスの重視、お客さま第一主義を踏襲してきたからではないでしょうか。今後も現状に甘んじることなく、社員の資格取得のための各種サポート制度、教育、研修、講習会、安全大会、勤続表彰、健康管理を充実させ、個人の能力をいかに

発揮できる職場環境づくりに取り組んでいきます。」

**地域の農家さんと業務提携**

「道路は眠りませんが365日24時間、安全・安心に、快適な高速道路をご利用いただくために補修や雪水作業など、道路を取り巻く環境の保守保全にあたっています。夏であれば道路外除草をはじめ清掃作業、植栽作業、投棄物や落物の処理など。交通事故復旧作業や災害復旧工事ではいち早く現場に駆けつけ、一刻も早く正常な状態に戻さなければなりません。また、冬は気象や道路状況を把握しながら除雪作業にあたります。道内の高速道路網の中でも極めて積雪量が多く極寒の地域ですから、大変厳しい任務であるといえます。

**Personal Profile**

**坂下 薫さん**  
1960年7月29日、旭川市生まれ。1978年、旭川北高校卒業。1982年、立正大学経済学部経済学科を卒業後、東京都にて約15年、証券会社に勤務。2000年、登揚建設(株)設立時に帰郷、同社へ入社。2013年8月、代表取締役に就任。